



難波八坂神社参拝

新年互例会



なにわ名物商品開発研究会の：名物？
：恒例の新年会が1月24日「パンチャ
ン」にて開催され無事終える事が出来
ました。総勢60余名の参加、各界から
ゲストオブザーバーの方々に多数参加
頂き、野村代表の挨拶から幕が開けら
れました。拙い司会で恐縮でしたが、何とか順に行事
を進行させて参りましたが、しかし、流石！なにわ名
物の兵揃い、ゲスト紹介の後からは一気に楽しい和や
かな雰囲気で各々が楽しく談笑、参加者の方々に新年
会を盛り上げていただきました。メインイベント
の「人間ビンゴ」。参加者のご協力で集まった様々な商品が
所狭しと壇上に並べられ、ビンゴの人から順番に自由に賞
品を選んでいただきましたが、何を持って帰るのか迷いに迷
つて壇上に人が溢れ、芋の子を洗うような感じで大盛況で
した。この後は「自己PRタイム」。会社の紹介、商品の紹
介、開催されるイベント、観劇等 紹介する側もされる側
も熱心に聞き入っております。そして「じゃんけん
大会」。各人手に汗握って「せーのーじゃんけんホイー！」。
だんだんと声が大きく汗だくになり、ベスト8からは壇上
に集まり「せーのーじゃんけんホイー！」。いつの間にやら会場
の全員がじゃんけんの大合唱、そして栄えある優勝者は？
楽しい時間があったと云う間に経過し、時計を見れば閉会の
時刻、惜しまれますが仕方なく旭堂小南陵さんの音頭で
大阪締めにて閉会。



楽しい新年会は幕を閉じ
ました。次回の新年会も奮っ
てどんどん参加してください
ね。目標100名です、ご協力の
程よろしく!!
ビジネス交流部会 伊藤 二郎

別府湯布院

まちづくりツアー



「なにわ名物開発研究会」と「オダサク倶楽部」の皆様にお
越しいただき、2004年10月9、10日の2日間、九州は大分
県別府市の別府温泉で「別府オダサク映画祭&シネマトーク」
と「路地裏まちづくり車座シンポジウム」を開催しました。
主催の「別府オダサク倶楽部」は、大阪の井村身恒氏が代表
をするオダサク倶楽部の姉妹団体。「織田作
之助を出汁にまちづくり！」というテーマに
共鳴し、2003年秋に発足しました。今回
は、なにわ名物研様の肝いりで初の大分・別
府路地裏まちづくり交流が実現しました。
9日、関西汽船フェリーで別府入りした一
行は早速、「別府オダサク映画祭&シネマト
ーク」に参加。映画「夫婦善哉」（東宝・昭
和30年）上映後、井村氏を司会に中谷健太郎氏（湯布院・亀の
井別荘社長）、伊藤雄氏（湯布院映画祭実行委員会委員長）、
金秀吉氏（映画監督）による、映画とまちづくりについてト
ークがありました。夜の部は、別府名物・流しのコンビ「はっち
やん&ぶんちゃん」と夜の路地裏散歩。別府市菅竹瓦温泉前
の交流パーティーに参加しました。この界限は、織田作の次
姉・千代夫婦が戦前から戦後にかけて、旅館や飲食店を営んだ地
であり、織田作も度々訪れました。「作やんも、この路地を歩
いたんや」と一行は感激しきりのご様子。翌10日も、一行は精
力的に活動。「別府の道頓堀・流川界限路地裏散歩」オダサク
の文学空間体験、「路地裏まちづくり車座シンポジウム」
に参加。別府市長の浜田博氏も駆け付けたシンポでは、なにわ
名物研代表の野村育郎氏が「甦る路地・法善寺横丁」中心市街
地活性化拠点としての路地の可能性」と題して報告。
井村氏も「オダサクが愛した路地の暮らしくオダサクを出汁
にまちづくりの提案」をテーマを講話。別府のまちづくり団
体・竹瓦倶楽部代表世話人の河
村建一氏らをまじえ、「路地の
あるまちづくり」オダサクが
とりもつ法善寺横丁&別府流川
界限」をテーマに語り合いま
した。 文責・別府オダサク
倶楽部事務局 中野 護



9月月例会は「大阪ルネッサンス」をテーマにシンポジウム「とことん、なにわ名物」をなせ、新大阪駅で赤福がおみやげ物売上1位なのか？を實施致しました。(株)大阪の味本舗の山本広繁さん、大阪府立産業開発研究所主任研究員の北出芳久さん、野杖育郎代表幹事をパネラーにマーケティン グチームの原テルキがコーディネーターとし



て、なせ大阪のおみやげトッ プが赤福なのか：大阪のみやげの復権はいかにすればいいかを討議：特に以前は大阪土産としておこしが強かったが食生活の変化の中で(固いものが好まれない)衰退していった話や、大阪の都市イメージ論、また新しく道頓堀に出来た、「道頓堀極楽商店街」の大阪イメージの発信についての話など興味深い内容でありました。当会としてはやはり「大阪ルネッサンス」を目指し行動を起そう！：自分たちの手で新しい大阪名物を作る必要性を確認し、有意義で意味のあるシンポジウムとなった。

広報部 原 晃樹

今年は大大阪80年。大阪が東京を凌ぎ、人口や産業だけでなく文化でも圧倒していた大正末年から昭和に元号が変わる頃、巷にはどんな色が溢れ、いかなる音が聞こえていたか？

昭和恐慌を尻目に関一市長が御堂筋を造り市民の力で大阪城を再建した頃、大阪は間違いなく文化都市でもあった。道修町の菓問屋出身の小出楯重は船場やミナミの街を描き大阪弁と大阪画壇を論じた。美人画の北野恒富は心齋橋時代の高島屋ポスターを艶やかに彩った。

そんなことどもを語るにはこの人をおいて居ない！橋爪節也氏(大阪市立近代美術館準備室主任学芸員)がスライドを駆使してはんなり日本画から未来派のアバンギャルドまで多彩に表現された大阪美術の粋を見せてくれた。

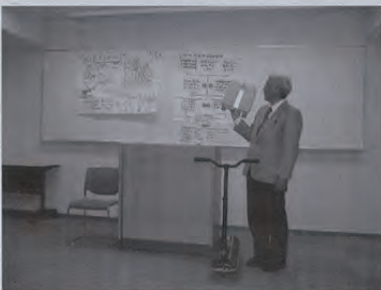
そして同時代の道頓堀。赤い灯青い灯ムーランルージュが回るカフェーでは五色の酒に酔い女給とタンゴやジャズを踊る。大和屋富田屋の芸妓達も負けじと三味線で洋楽を奏でる。ウエルカムウエルカム：手回し蓄音機で貴重なSP原盤を惜しげもなくかけてくれたのは古川武志氏(大阪市史料調査室審査員)。怪しげなトンビ姿の織田草之助氏の飛入りも加えてしばし大阪ルネッサンスを夢見た一刻であった。

広報部 大阪学チーム 井村 身恒

11月のゲストには、本年度なにわ大賞特別賞受賞者で発明家の六車義方さんをお招きしました。六車さんは、動物の動きに学んだ楽しい乗り物の発明が得意です。部品はプラスチックのまな板やアイロン台など、どこにでもあるものですが、その使い方には「目からウロコ」でした。また、素人には気づかないところに工夫があったりして、100以上の特許を取得された実力の片鱗がうかがえました。

講演の後半は、噂の「走る座布団」他の試乗会。簡単なようで、気持ちほどは前に進まず、皆さんいい汗かきました。現在、はばたき飛行機を開発中で、次回の「鳥人間コンテスト」に出る計画だとか。みんなで応援：というか、無事を祈りましょう。

それにしても、「いちびり」という言葉は、この人のためにあると言っても過言ではないと思いましたが、参加者の皆さんはいかがでしたか？「発明家に向く性格は」との質問に、ズバリ「へそまがり！」とのお答え。私たちも大いに有望かもしれません！



商品開発部会
北出 芳久

東京のカリスマシヨップの進出、洒落たシヨップやカフェのオープン、「立花通り」から「オレンジストリート」へ名実ともに大転換。ゴーストタウン化の進んだ堀江が、楽しく・オシャレな・若者の街へ様変わりしたのはご存じの通り。一体誰が仕掛けたのか。04年末の締め括りは、仕掛け人の一人でもある能口仁宏氏に登場してもらった。「街が消え去ってしまうのではな

いか」というところまで追い詰められた92年、街活性化のための委員会を発足。新しい街に転換するために東奔西走した。



商店会とのベクトル合わせ、町内の長老や地元警察への協力取り付け、街や路上の美化などなど。その一方で、当時注目を浴び始めたフリーマーケットを企画し、堀江に人が集まる仕組みを作った。ひと言では語り尽くせない苦労を苦労とは思わず、夢を持ってチャレンジを重ねたことが堀江再生につながったと思われる。

「より良い大阪づくり」を念じる仲間として、学ぶことが多かった能口氏の話。誌面を借りて御礼を申し上げ、報告と致します。総務部 大熊 章悦

新入会員紹介

〈正会員〉

和太鼓 雅
演奏活動・指導等
アスハ有限会社
コンビニ出版事業・
結婚情報サービス

〈予定〉
株式会社
ワイ・イー・アール
総合保険代理店

会員短信

特別会員の旭堂小南陵さんが「平成16年大阪文化祭賞クラブ」を受賞されました。3月23日(水)には受賞祝賀パーティを開催する予定です。

個人会員の北出芳久さんが「商業・まちづくりネットワーク(石原武政・加藤 編/ミネルヴァ書房)」という書籍のなかで「特産品振興における地域ブランドの確立」を担当されました。なにわ名物開発研究会も取り上げられています。

昨年末に出版された「大阪力辞典(橋爪紳也監修・大阪文化都市ミュージアム研究会編/創元社)」の144ページに、なにわ名物開発研究会と大阪みやげが取り上げられています。

正会員の(有)リーガルアシストから、人事労務コンサルティングシリーズ小冊子「採用マニュアル」が発行されました。面接チェックシートや助成金・労働基準法など、実務に役立つ情報が満載です。定価は500円。なにわ名物開発研究会の会員には特別に、送料無料で進呈されています。詳しくは(有)リーガルアシスト TEL. 0729-70-3690まで。

福島敏明さん(旧福建設)はこの度、福島区聖天さん近くに「もつ鍋、ぶくみや」をオープンしました。福島区福島8-13-12 Tel/Fax 06-6448-7433

住所及び会社名変更

●社名変更
有限会社家福(旧 家福)ノ不動産賃貸・雑貨企画製造販売業有限会社に改組。新たに雑貨企画製造販売事業も始められ、第一号商品となる「新大阪みやげ」も近々発売予定。

●住所変更
株式会社つづせ
〒590-0012
大阪府堺市浅香山町3-9-11
Tel 072-226-0722
fax 072-226-0725

掲載希望の方は広報部まで広報部会開催のお知らせは、毎月FAXにて告知しております。

入会について

■入会金■

10,000円(正会員)
5,000円(協力会員)

■年会費■

36,000円(正会員)
12,000円(協力会員)

部会活動などにお使い下さい

●本部
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
tel・fax (06) 6213-5554
●事務局(会議や諸事連絡)
大阪市中央区本町橋2-23
第七松屋ビル1231
tel (06) 6947-5260
fax (06) 6947-5254

FROM部会

総務部会

最近の月例会のテーマを見てく
ださい。9月「大阪名物・みやげ」、
10月「色と音で蘇る大阪ルネッサ
ンス」、11月「発明の商品化」、12月
「アメリカ村そして堀江・伝説の仕掛け
人たち」。なんともバラエティに富んだ内
容。総務部ではこうした月例会を、事
務局や各部担当者と一緒に企画・運営
しています。ということとは…、情報を先
取りできる絶好のポジションなんです!

部長 灰谷 幸

広報部会

広報部は機関紙の発行を通して、会
の活動をお伝えする情報発信の重要な
存在と考え、特に行事記録の保存や読
み手とのフィードバックを考えた、ビジュアル
な中身のある紙面を目指して知恵を絞
り、徐々にながら改良を加えて、より良
き紙面づくりにがんばっています。
会員の皆さんには、行事の感想文や
取材・撮影のお手伝い、そして面白い情
報やご意見・アドバイスをどうぞ協力をい
ただきたいと思っておりますので、よろしくお
願いいたします。 副部長 岩崎 雅明

ビジネス交流部会

私たちは、会員相互のビジネス交流に
役立つ事業を行う事を目的に活動して
おります。具体的には大阪ギフトショー
等の展示会に出展し、会員各社の商品、
サービスのPRの機会を作り、対外、対
内に新しい仕事のチャンスを提供してお
ります。又、希望される会員様に、研究
会のネットワークを活かした、紹介や幹
旋を行い会員の皆様の仕事上の便宜を
図るべく活動しております。

部長 松本 好正

商品開発部会

春の声が聞こえてくるにつれ、ムクム
クと活動意識が高まってきている商品
開発部会です。毎月第3金曜日に部会
は開催されておりますが、次年度も同
様に各月に開催予定です。部会員の会
員さんも、他の部会員の方々も、遠慮な
く商品企画をお持ちください。なにわ
名物に限りませんし、アイデア料なども
一切不要です。毎月第3金曜日にワイワ
イやりましょう!!
エッ?何ッ?大阪発の映画とコラボッ
て何か作るとエエ? 部長 藤井 学

会 員 紹 介

有限会社なにわ創信舎

〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-9-15 1605
電話 06(6258)4460
FAX 06(6258)4470

なにわ創信舎は、「デザインから財務
戦略まで『魂』のブランドプロデュースを
実践。中小企業・ベンチャー型企業・老舗
企業 地域 集客施設等に絶対に必要な
新しいブランド戦略。

3倍の効果を上げる…業績を安定
させ、継続し、成長させるオンリーワンを
目指す事業



百年大阪 モダン流



体の為の実業
に合った、独
自のブランド
戦略プログラ
ムを実践致し
ます。」をスロ
ーガンにブラ
ンドマーケテ
ィングプロデ
ューサー事業を行う会社です。
そしてなにわ名物開発研究会から生
まれた「百年大阪 粋 モダン流」のブラン
ドプロモートを行っています。ぜひ、会社
商品のブランド戦略構築・実施には、当
社をお役立て下さい。

石川史雄の

こなひじやばつたどろどろです

第2回(株)アート、コーポレーション

ビルメンが胎教&リラクゼーションをテ
ーマにマタニティコンサートを開催!当
社の顧客である産院は少子化で生き残
りをかけよりよいサービスを求めている。
コンサートは産院にも妊婦にも好評だ。
顧客満足を図る付加サービスを考え抜
き、誘導看板を始め人材派遣など次々
メニューを追加してきた結果だ。発想の
豊かさ人と人脈の広さが可能にしたた
たかな戦略である。

【ズバリ提言】

アートといえばアート引越しセンター
を思い浮かべる? 商号は(株)アート・コ
ーポレーションが先。同社は問題視して
いないが新規開拓にはマイナスに作用す
るだろう。認知度向上戦略は必須。トッ
プの役割は全体を見、仕事を任せ、後継
者を育てることだが、未だ一人で走り回っ
ている。早急な人材育成が急務。